

平成 17 年度高次脳機能障害支援モデル事業地方拠点機関等連絡協議会
支援コーディネーター班調査結果

集計

1. モデル事業5年間における対象者のプロフィール

- 表1-1. 対象者の人数
- 表1-2. 追跡状況
- 表1-3. 支援開始時の属性
- 図1-1. 都道府県別人数
- 図1-2. 追跡回数ごとの人数
- 図1-3. 性別
- 図1-4. 年齢
- 図1-5. 診断大分類
- 図1-6. 利用施設・サービスの種類
- 図1-7. 入院・在宅の区別
- 図1-8. 認知障害の有無(1)
- 図1-9. 認知障害の有無(2)
- 図1-10. 社会的行動障害の有無
- 図1-11. 片麻痺及び失調の有無
- 図1-12. 評価項目:HDS-R
- 図1-13. 評価項目:バーセル・インデックス
- 図1-14. 評価項目:老研式活動能力指標総点
- 図1-15. 評価項目:障害尺度

2. 後期2年間における対象者のプロフィール

- 表2-1. [後期2年間]新規登録者の追跡状況
- 表2-2. [後期2年間]既存登録者の追跡状況
- 表2-3. [後期2年間]医学的診断表からの属性
- 表2-4. [後期2年間]ケースカード提出状況
- 表2-5. [後期2年間]ケースカード(初回)からの属性
- 表2-6. [後期2年間]ニーズ判定票提出状況
- 表2-7. [後期2年間]ニーズ判定票からの属性(初回)
- 表2-8. [後期2年間]ニーズ判定票(本項目):必要性の有無の人数(初回)
- 表2-9. [後期2年間]ニーズ判定票(参考項目):必要性の有無の人数(初回)
- 表2-10. [後期2年間]支援計画書(初回)
- 表2-11. [後期2年間]支援内容の変化(新規登録者)
- 表2-12. [後期2年間]支援内容の変化(既存登録者)
- 図2-1. 都道府県別人数
- 図2-2. 新規登録者の追跡状況
- 図2-3. 既存登録者の追跡状況
- 図2-4. 性別
- 図2-5. 年齢
- 図2-6. 診断大分類
- 図2-7. 利用施設・サービス
- 図2-8. 支援費制度の利用
- 図2-9. 介護保険の利用
- 図2-10. 医療保険の利用
- 図2-11. 高次脳機能障害(1)
- 図2-12. 高次脳機能障害(2)
- 図2-13. 高次脳機能障害(3)
- 図2-14. 身体機能
- 図2-15. HDS
- 図2-16. バーセル・インデックス
- 図2-17. 居住状況
- 図2-18. 家族の援助・理解
- 図2-19. キーパーソン(複数記載可)
- 図2-20. 経済状況

3. 支援センター相談実態
 - 表3-1. 全体平均(最小値-最大値)
 - 表3-2. 相談のあった市町村の件数
 - 表3-3. 相談のあった市町村の人数
 - 表3-4. 相談実態[北海道]
 - 表3-5. 相談のあった市町村[北海道]
 - 表3-6. 相談実態[宮城県]
 - 表3-7. 相談のあった市町村[宮城県]
 - 表3-8. 相談実態[千葉県]
 - 表3-9. 相談のあった市町村[千葉県]
 - 表3-10. 相談実態[埼玉県]
 - 表3-11. 相談のあった市町村[埼玉県]
 - 表3-12. 相談実態[神奈川県]
 - 表3-13. 相談のあった市町村[神奈川県]
 - 表3-14. 相談実態[岐阜県]
 - 表3-15. 相談のあった市町村[岐阜県]
 - 表3-16. 相談実態[三重県]
 - 表3-17. 相談のあった市町村[三重県]
 - 表3-18. 相談実態[大阪府]
 - 表3-19. 相談のあった市町村[大阪府]
 - 表3-20. 相談実態[岡山県]
 - 表3-21. 相談のあった市町村[岡山県]
 - 表3-22. 相談実態[広島県]
 - 表3-23. 相談のあった市町村[広島県]
 - 表3-24. 相談実態[福岡県]
 - 表3-25. 相談のあった市町村[福岡県]
 - 表3-26. 相談実態[名古屋市]
 - 表3-27. 相談のあった市町村[名古屋市]
 - 図3-1. 相談のあった市町村の分布(件数)
4. 支援センターネットワーク活動
 - 表4-1. 連携した市町村
 - 表4-2. 連携した市町村とその内容
5. 支援コーディネーター
 - 表5-1. 都道府県ごとの支援コーディネーター
 - 表5-2. 支援コーディネーターの集計
 - 図5-1. 支援コーディネーターの職種